



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動に制限が出ています。これにより、現場は不安や悩みを抱えますが、同時に新たな創意工夫が生まれています。「つながる通信」では、そうしたコロナに負けない地域の繋がりやパワーを発信し、各地でお役立ていただく一助となれればと願っております。

取材先

強戸地区 菅塩町 「須藤英雄さん」 上強戸町 「金井文作さん」



すとう ひでお

須藤英雄さん 91才

方が多くなってきたため、中々ご家族以外と話す機会が少なくなっています。ご家族は、英雄さんに元気に暮らしてもらいたいという思いから、**家に引きこもりがちなならないように敷地内の片付け（落ち葉拾いや雑草取り）をお願いしています。**それ以外にも自分のできる範囲で**家庭菜園も続けています。**息子の和幸さんは「**畑はすごく頭を使うから認知症の予防になるしできるだけ続けてほしい。**」と話します。

英雄さんは「**家族が自分のことを気にかけてくれるおかげで毎日ストレスもなく、楽しく過ごせる。嫌なことも寂しいということもなく幸せ。**」

年齢を重ねてつながりが少なくなっている中でも、**毎日何かやることがあり、毎日の楽しみがあり、それを支えてくれる家族がいること**が英雄さんが地域で長く暮らしている秘訣だと感じました。

菅塩地区村作り推進協議会（菅塩町の遊休農地活用の取り組み）

英雄さんの代から有志8名程で、菅塩町の遊休農地の管理を始めました。管理は現在も続いており、30人～40人のメンバーで取り組んでいます。

当初は、そばやかぼちゃを植えていましたが、平成13年からはみかんの木を植えるようになり、現在では1,000本以上植えてあるみかん畑になりました。

平成24年からは、地元の幼稚園がみかん狩りに訪れるようになり、現在は、市内の幼稚園や保育園10数か所が毎年来ています。

みかんに関して、メンバーでもある和幸さんが「素人仕事だから形は悪いけど、味は美味しいって評判だよ。」と話していました。**この活動が住民同士が顔を合わせる機会になっており、外作業のためコロナの対策をしながら活動ができ、地域にまとまりがでてくるのが大きい効果**のようです。



地域のお宝発見♡ ～太田市生活支援体制整備事業～



かない ぶんさく

金井文作さん 91才

かを覚えていないといけない。だから認知症にならずに元気でいられるのかもしれないね。」

文作さんは作った野菜を親戚や同級生、ユーランド新田で知り合ったお友達にも配っています。「野菜を配って美味しいと言ってもらえるのが生きがだよ。」



畑作業は午前中に終わらせ、午後はユーランド新田へ行き疲れを癒します。ユーランド新田は、お友達に将棋を誘われたことがきっかけで5、6年前から通い始めました。

ユーランド新田に通い始めてから体の調子が良く、かかりつけ医から「金井さん、何か特別なことを始めたかい？」と聞かれ、ユーランド新田へ通っていることを伝えると、「それが金井さんの調子を良くしているんだね。金井さんくらいの方は、体調が悪くなることはあっても良くなることはあんまりないから。」といわれたそうです。

文作さんは、畑やお風呂を続けることで自分で自分の健康を管理しているようです。

「家の中ばかりいると、生活リズムが狂ってきちゃう。痛いところはあっても体を動かすことが良い。」

年齢を重ねて難しくなっていることはありますが、自分のできる範囲でできることを続けていくこと、家族やお友達と関わりながら生きていくことが文作さんが地域で長く暮らしていくことにつながっていると感じました。



💡チェックポイント💡

- まわりの人に助けられながらも自立して生活をする事ができている。
- 毎日やることや楽しみ、生きがいがあることで地域で元気に暮らしていける。
- 野菜がまわりの人たちとコミュニケーションをとる手段になっている。



お宝情報を募集中!「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は右記お問い合わせまで!



詳しくはこちら

お問い合わせ
太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032